

平成24年度事業報告

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概 要】

アベノミクスにより20年に亘る経済の停滞にかすかな光明を感じる人々が増え始めている。

しかし、私達を取り巻く環境は、外(おもて)を見ればいまだ燻る世界的な通貨危機、中国・韓国など近隣諸国との軋轢、北朝鮮の脅威、内を見れば、長い経済停滞からの脱却、震災復興への重い取り組み、更には遠くない将来に予想される首都直下・東海・東南海・南海地震などに対する差し迫った対応を求めている。

かような状況は、我々に、新しい日本に生まれ変わる時代の到来を予感させ、それは単なる物理的な国土の強靱化というにとどまらず、より根源的な変革をも含めた国家そのものの強靱化という大きな歴史の潮流が迫ってきているように思える。しかしいかなる潮流の中にあろうとも、国民生活の豊かさと、そしてその心身の平和の基盤が各人の心身の健全性にあることは普遍の事実である。潮流に押し流されることなく正しい判断力、決断力を維持するために、その基盤の強化を図ることこそより良い国家・社会の構築に不可欠なものと考ええる。

本会は、微力ながら健康立国を目ざし国家の体力の下支えをすべく自力自彊の精神をもって、「自分のための自彊術」とにとどまらず、広く多くの人々のための、「社会のための自彊術」という視点からの活動を自覚し、国の元気復活の一助ともならんと意気込みを持って各支部長以下全指導員ならびに本部職員が各事業の遂行に努めてきたものと考ええる。

なお、平成24年度には、本会の活動の趣意を理解して入会した賛助会員は、52,494名となり前年度比1,509名(約2.9%)の増加となっており、本会の各事業活動は各支部長並びに指導者各位の社会に貢献しようとの情熱と使命感により順調に推移したものと考ええる。

会 員	平成24年3月末	平成25年3月末	増 減
名誉会員	1	1	0
正 会 員	6 1 1	6 2 2	+ 1 1
賛助会員	5 0, 9 8 5	5 2, 4 9 4	+ 1, 5 0 9
合 計	5 1, 5 9 7	5 3, 1 1 7	+ 1, 5 2 0

II 【事業の内容】

公1 普及促進事業

1、指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

本部主宰の講習会のほか中伝資格者以上の指導者が主宰する教場での講習会において、従前よりの教場に加えて平成24年度は下表の推移となった。

① 新設教室

指導者の増加に伴い前年度確定値比として新教場(136)が新設された。

新設教場増加数(初心者講習会を含む)							
	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 H23下期 (確定値)	56	215	2,285	546	557	418	4,077
H24年度増減 (※速報値)	-1	+13	+47	+66	0	+11	+136
計	55	228	2,332	612	557	429	4,213

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

生涯教育としての「自彊術」の必要性の認識が高まり、地方公共団体・病院の主宰する講習会や、NHK・朝日・読売などの民間カルチャーセンターなどからの講師派遣依頼も増加した。

③ ボランティア活動

介護施設のデイケアに訪問し、参加者が可能とする運動を自彊術31動から抜粋して行う等の活動がなされた。

2、指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条)

① 熱川研修会(自彊術体操の普及とその技術と精神の伝承を志し、自彊術普及会の中核指導者とならんとする者を養成することを目的とする。)

第85回	平成24年4月6日～8日 指導者 師範3名・準師範1名・奥伝5名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計147名
第86回	平成24年6月15日～17日 指導者 師範2名・準師範1名・奥伝4名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計109名

第 87 回	平成 24 年 10 月 26 日～28 日 指導者 師範 2 名・準師範 3 名・奥伝 3 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 112 名
--------	--

近年、厳しい研修にもかかわらず、参加希望者は、その技術力・指導力の向上を目指している。

なお普及会本部では、全国規模で集合し研修を受けることにより、統一的な技術の維持確保及びその精神の伝承を図る、という非常に重要な研修会と位置づけており、研修内容も厳しいものになっている。

② シニア熱川研修会(65 歳以上の、指導者を目指す者を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する。)

第 6 回	平成 24 年 10 月 24 日～26 日 指導者 師範 3 名・準師範 1 名・奥伝 4 名 受講対象者 65 歳以上の中伝取得者、中伝を目指す者 計 135 名
-------	---

指導者を目指す 65 歳以上の人を一堂に集め、自彊術の技術とその精神を正しく伝えるという目的で開催された。目的である指導技術の統一的伝承という成果は、十分に挙げ得たといえることができる。指導者たちの高齢化に伴う指導力の漸次的低下に対応する研修会の有意性が認識される。

③ 総支部指導者養成所研修会

各支部の中核となる指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって実施する。

名 称	受講資格	実施場所	指導講師
東北 指導者養成所	初伝・中伝	福島県福島市置賜町 5 置賜会館	師 範 長谷場 京 他
関東 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-13-1 本部道場	師 範 近藤 幸世 他
神奈川県 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-13-1 本部道場	師 範 幸村恵美子他
中部 指導者養成所	初伝・中伝	愛知県名古屋市中区丸の内 2-5-10 アイリス愛知	準師範 永井 弘子 他
関西 指導者養成所	初伝・中伝	大阪府大阪市阿倍野区松崎町 2-2-25 安倍乃荘	準師範 四本多美子他
九州・中国 指導者養成所	初伝・中伝	福岡県福岡市中央区天神 2-2-20 警固神社 福岡県北九州市小倉北古船場 1-6 菅原会館	師 範 久保 穎子 他

④ 地方特別研修会

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年 1 回随時実施する。

平成24年度地方特別研修会実施状況

	開催支部	開催日		会場	講師		実行委員長
1	春日部支部	4/24	4/25	本部道場	長岡 勝美	堀内 郁子	大野 光代
2	立川支部	5/12	5/13	八ヶ岳ロイヤルホテル	幸村 恵美子	渡辺 公子	江波戸光子
3	静岡県・名古屋東支部合同	5/12	5/13	静岡県職員会館	宮本 綾子	善上 陽子	堀井 恵子
4	豊橋支部	5/12	5/13	豊橋パークホテル	山尾 慶子	片海喜美子	國井 淳子
5	石川県支部	5/12	5/13	石川県文教会館	四本 多美子	嶋崎 啓子	木戸 外茂子
6	練馬・千代田支部合同	5/15	5/16	本部道場	大野 光代	吉川 由美子	宮崎 町子
7	熊谷・川越・東松山支部合同	5/22	5/23	本部道場	久保田 元子	門倉 くみこ	鯛中 八重子
8	名古屋中支部	5/22	5/23	アイリス愛知	田幡 鈴美	鈴木 多津子	森田 恵美子
9	大阪府・大阪東支部合同	5/26	5/27	安倍乃荘	國井 淳子	小久保 正代	綿田 富美枝
10	むさし野・新宿朝日支部合同	5/29	5/30	本部道場	堀井 恵子	吉田 裕子	石川 昌子
11	東北総支部	6/2	6/3	摺上亭大鳥	小林 久美子	猪狩 正子	杉田 富久子
12	千葉県成田支部	6/5	6/6	本部道場	佐藤 秀子	堤 恭子	長岡 勝美
13	千葉県流山・千葉県稲毛・大宮南支部合同	6/26	6/27	本部道場	杉田 富久子	白須 清子	遠藤 美代
14	立川朝日・春日部南支部合同	7/3	7/4	本部道場	山中 節子	中島 陽子	大野 光代
15	札幌支部	7/7	7/8	札幌全日空ホテル	虫生 一恵	三上 博子	玉置 百合子
16	名古屋支部	7/7	7/8	アイリス愛知	小林 久美子	木村 嘉津子	永井 弘子
17	兵庫県支部	7/7	7/8	須磨シーパル	幸村 恵美子	滝口美奈子	四本 多美子
18	千葉県支部	7/17	7/18	本部道場	小篠 幾代	須賀 照子	猪狩 正子
19	所沢・富士北麓・板橋支部合同	9/18	9/19	本部道場	長岡 勝美	吉川 由美子	結城 献子
20	神奈川県総支部	9/25	9/26	本部道場	竹内 英子	大橋 直子	幸村 恵美子
21	千葉県柏支部	10/2	10/3	本部道場	小篠 幾代	江波戸 光子	久保田 元子
22	京都府・奈良県支部合同	10/6	10/7	東寺内洛南会館	虫生 一恵	鈴木 すが子	山尾 慶子
23	大宮支部	10/13	10/14	本部道場	幸村 恵美子	吉田 裕子	竹内 英子
24	東京北支部	11/10	11/11	本部道場	佐藤 秀子	藤井 靖子	堤 恭子
25	京都洛中・滋賀県支部合同	11/17	11/18	京都平安ホテル	永井 弘子	富田 節代	井上 美枝子
26	小平支部	11/20	11/21	本部道場	長岡 勝美	都築 チヨ子	小池 喜代子
27	九州・中国総支部	11/29	11/30	警固神社	山中 節子	加藤 由美子	宮本 綾子
28	沖縄支部	1/26	1/27	ユインチホテル南城	四本 多美子	堤 恭子	東 安子

(2) 上級指導者研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第7条)

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者に対する養成力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

- ① 準師範等研修会(体操・療法についての技術、指導上の要点の確認をし、その結果を指導者養成特別研修会における研修に反映させることにより、指導の統一性を維持することを目的とする。)

四国：平成25年2月17日～20日

② 奥伝研修会

- (i) 選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

平成24年4月17日、8月7日、10月23日、平成25年1月15日

- (ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

四国：平成25年2月17日～20日

③ 支部長研修会

本部道場他：平成24年4月17日、6月22日、10月23日、平成25年1月15日

(3) 資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

免状	年度	月	人数	小計
初伝	平成24年	4月	106名	
		7月	290名	
		10月	164名	
	平成25年	1月	309名	869名
中伝	平成24年	8月	175名	175名
奥伝	平成24年	6月	13名	13名
準師範	平成24年	6月	1名	1名
師範	平成24年	6月	0名	0名

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国九州	合計
初伝	11	52	473	147	137	49	869
中伝	1	12	105	25	23	9	175
奥伝	0	1	6	2	3	1	13
準師範	0	0	1	0	0	0	1
師範	0	0	0	0	0	0	0

公2 普及啓発事業

1、自彊術に関する調査研究(定款第4条第1項(3))

①自彊術体操の日常生活に於ける有効性を実証することを目的に、10月26日第6回シニア熱川研修会において研修参加者を対象に健康度測定調査を実施した。その結果、自彊術歴の違いにより多少の差はあるが、体操継続者の健康度は、各年代グループ毎の平均健康度をかなり上回ることが明らかになった。

②生体リズム・神経内分泌・睡眠・体温調節などに関与する脳内物質セロトニン（5-ヒドロキシトリプタミン）について、東邦大学統合生理学研究室 有田秀穂教授により「脳内物質セロトニンの分泌と自彊術体操の効用」に関する調査研究が実施された。結果については本会ウェブ上において公表している。

2、自彊術に関する刊行物等の発行(定款第4条第1項(3))

①機関紙「自彊の友」の発行

毎月、近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者たちの体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名、会長の日誌、事業計画の伝達等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。

本年度も引き続き「自彊術」の効用・会員の動向の関連記事を中心に編集した。平成24年度各号の主な記事は次の通りである。

4月号(434号)

- ・山口県支部たより
- ・福島支部35周年記念講演会「心と体のための食事学」②東京農大名誉教授 小泉武夫博士

5月号(435号)

- ・福岡南支部たより
- ・我がクラスの自慢したい先輩

6月号(436号)

- ・宮城県北支部たより
- ・東日本大震災見舞金・義援金募金活動のご報告とお礼

7月号(437号)

- ・公益社団法人自彊術普及会第25回通常総会
- ・正味財産増減計算書

8月号(438号)

- ・第15回国際福祉健康産業展ウエルフェア2012に参加して
- ・平成24年4月1日附初伝取得者名簿(106名)
- ・「健康体操・自彊術と脳の活性化」セロトニン神経の働き①東邦大学医学部教授 有田秀穂先生(公開講演会)

9月号 (439号)

- ・ブラジル自彊術講習会
- ・平成24年7月1日附初伝取得者名簿(290名)
- ・四国・香川県にお教室ができました!
- ・セロトニン神経の働き②東邦大学医学部教授 有田秀穂先生(公開講演会)

10月号 (440号)

- ・豊川支部たより
- ・セロトニン神経の働き③東邦大学医学部教授 有田秀穂先生(公開講演会)

11月号 (441号)

- ・春日部支部30周年記念講演会
榊原記念病院医学博士 長山雅俊先生
- ・平成24年8月15日附中伝取得者名簿(175名)
- ・セロトニン神経の働き④東邦大学医学部教授 有田秀穂先生(公開講演会)

12月号 (442号)

- ・近藤芳朗前会長余話
- ・平成24年10月1日附初伝取得者名簿(164名)
- ・神奈川ミナト支部設立10周年・教室30周年記念大会
- ・横須賀支部、熊本へ行く
- ・セロトニン神経の働き⑤東邦大学医学部教授 有田秀穂先生(公開講演会)

1月号 (443号)

- ・新年の御挨拶
- ・マスコミに現れた自彊術
月刊誌『致知』1月号”生涯現役”より転載①
- ・セロトニン神経の働き⑥東邦大学医学部教授 有田秀穂先生(公開講演会)

2月号 (444号)

- ・山形県支部たより
- ・マスコミに現れた自彊術
月刊誌『致知』1月号”生涯現役”より転載②
- ・セロトニン神経の働き⑦東邦大学医学部教授 有田秀穂先生(公開講演会)

3月号 (445号)

- ・米国・ワシントンのお教室を訪ねて
- ・マスコミに現れた自彊術
月刊誌『致知』1月号”生涯現役”より転載③
- ・ワシントンでの自彊術
- ・セロトニン神経の働き⑧東邦大学医学部教授 有田秀穂先生(公開講演会)

②「リーフレット」配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。普及活動が活発になるにつれて配布量は増加し、20,000部の作成配布となった。

③「自彊術の葉」配布状況

葉には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、「入会に必要な事項」が記載されている。7,000部の作成・配布となった。

3、webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図り、本会に対する社会的信頼の形成に尽力する必要がある。

4、公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月21日に東邦大学医学部教授有田秀穂先生により「健康体操・自彊術と脳の活性化」の演題で実施され好評を得た。

5、周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

支部周年行事

- ・ 30周年 春日部支部
- ・ 10周年 山形県支部
神奈川ミナト支部
名古屋東支部

6、海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

平成25年1月、米国ワシントンDCの教室在籍の会員約40名の方々を中心に勉強会を実施するとともに、ケアファンドの教会施設においても一般の方々を交えての指導が行われた。

7、近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・ 事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・ 入館料は無料
- ・ 本年度入館者数 369名

Ⅲ 【その他】

1、会議(定款第3章以下及び4章以下)

- (1)総会・・・・・・・・・・ ○決算総会 平成24年6月21日 京王プラザホテル
議題：平成23年度事業報告・収支決算報告及び監査報告
○予算総会 平成25年2月25日 北とぴあ
議題：平成25年度事業計画
平成25年度収支予算
- (2)理事会・・・・・・・・・・ ○決算理事会 平成24年6月2日 本部道場
議題：平成23年度事業報告・収支決算報告及び監査報告
○予算理事会 平成25年2月25日 北とぴあ
議題：平成25年度事業計画
平成25年度収支予算
- (3)全国支部長会議・・・ ○第9回全国支部長会議 平成24年6月22日 京王プラザホテル
議題：1 第86回熱川研修会の申込について
2 支部会計実施上の注意点
地方特別研修会の決算書作成の注意点
宿泊費、会議費上限、渉外費について
3 「賛助会費集金一覧」について
4 各種研修会に出席できる条件について
5 定款並びに諸規定について
6 書式集について
7 紹介状の発行について
8 初伝・中伝の資格申請について
9 葉とリーフレット申込
10 その他
○支部長連絡会
平成24年 4月17日(火)本部道場
平成24年10月17日(火)本部道場
平成25年 1月15日(火)本部道場
- (4)支部主催会議・・・・・・・・ 随時
本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2、東日本大震災に伴う見舞金義援金募金活動の実施

平成24年度も、全国の会員より応援のご厚志が寄せられ、その金額は約157万円の高額に上り全壊・流失の重大な罹災をされた会員36名に対するお見舞金と足なが育英会津波遺児募金口への義援金として配賦がなされた。

3、マスコミに取り上げられた自彊術

- ・本部

月刊誌「致知」(2013年1月号) ”生涯現役”欄 近藤会長への取材

- ・大宮支部

テレビ JCN 埼玉デイリーニュース(2012年11月19日)

- ・春日部支部

TBS ラジオ大沢悠理のゆうゆうワイド

「毒蝮三太夫のミュージックプレゼント」(2013年2月1日)

- ・千葉県支部

「広報うらやす」 「広報我孫子市」

- ・千葉県柏支部

コアラかつしかケーブルテレビ デイリーニュース(2012年11月22日)

- ・練馬支部

ねりま区報(2012年4月1日) 広報すぎなみ(2012年4月21日)

ねりま区報(2012年6月1日) ねりま区報(2012年7月1日)

ねりま区報(2012年8月1日) ねりま区報(2012年9月21日)

ねりま区報(2012年10月21日) ねりま区報(2012年12月11日)

- ・むさし野支部

東久留米市報(2012年5月号) 西東京市報(2012年12月号、2013年3月号)

- ・立川支部

西多摩新聞「創立30周年を祝う、市民の健康づくりに貢献」

- ・立川朝日支部

東京ベイドット(地デジ111チャンネル2012年4月20日～21日)

- ・東松山支部

市報ぎょうだ(2013年3月1日) 広報かがやき(鴻巣市)(2013年3月15日)

- ・神奈川南支部

タウンニュース「学びませんか自彊術」

- ・神奈川ミナト支部

日野南地域ケアプラザ

- ・名古屋支部

名古屋市医師会「ヘルシーなごや」春号

東海テレビ「今日のアナ」(2012年9月17日)

- ・静岡葵支部

「函南町スポーツマップ」広報3月号

- ・静岡県支部

マックスバリュ東海 MY ユニオンコミュニティ誌「Mimo」

- ・わかやま県支部

ラジオ和歌山放送 トヨタ街角ステーションきらめきリポート(2012年10月5日)

リビング新聞社「カルチャーブック」(2013年3月)

- ・京都洛中支部

KBS 京都ラジオ 早川一光「人間バンザイ」(2012年9月16日)

- ・奈良県支部

奈良日日新聞「自彊術は万病治す健康体操」(2012年9月14日)

平成24年度決算報告書

貸借対照表

平成25年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	87,633,533	57,800,043	29,833,490
未収金	760,422	831,314	-70,892
前払費用	429,287	651,871	-222,584
仮払金	185,909	0	185,909
流動資産合計	89,009,151	59,283,228	29,725,923
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,213,000	30,213,000	0
基本財産合計	30,213,000	30,213,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	37,000,000	33,000,000	4,000,000
減価償却引当資産	60,000,000	50,000,000	10,000,000
特定資産合計	97,000,000	83,000,000	14,000,000
(3) その他固定資産			
建物	337,645,778	337,645,778	0
建物附属設備	10,476,709	10,476,709	0
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	4,023,908	5,550,473	-1,526,565
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-82,058,451	-75,165,896	-6,892,555
ソフトウェア	476,700	476,700	0
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	2,438,175	1,800,375	637,800
保証金	20,000	20,000	0
保険積立金	14,665,984	14,665,984	0
その他固定資産合計	556,540,272	564,321,592	-7,781,320
固定資産合計	683,753,272	677,534,592	6,218,680
資産合計	772,762,423	736,817,820	35,944,603

科 目	当 年 度	前年度	増 減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,402,329	1,910,248	492,081
前受会費	41,429,000	41,838,000	-409,000
預り金	950,324	916,226	34,098
流動負債合計	44,781,653	44,664,474	117,179
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	38,782,000	34,853,500	3,928,500
退職給付引当金	452,916	375,876	77,040
固定負債合計	39,234,916	35,229,376	4,005,540
負債合計	84,016,569	79,893,850	4,122,719
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本資産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	658,745,854	626,923,970	31,821,884
一般正味財産合計	658,745,854	626,923,970	31,821,884
(うち基本資産への充当額)	(213,000)	(213,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(60,000,000)	(50,000,000)	(10,000,000)
正味財産合計	688,745,854	656,923,970	31,821,884
負債及び正味財産合計	772,762,423	736,817,820	35,944,603

正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	390,000	390,000	0
② 特定資産運用益	27,187	36,980	-9,793
③ 受取会費	163,223,000	158,112,500	5,110,500
正会員受取会費	6,270,000	6,210,000	60,000
賛助会員受取会費	156,953,000	151,902,500	5,050,500
④ 事業収益	103,029,016	88,661,627	14,367,389
講習会等実施事業収益	12,259,766	13,477,377	-1,217,611
指導者養成事業収益	69,417,500	57,833,000	11,584,500
資格等授与事業収益	21,351,750	17,351,250	4,000,500
⑤ 受取寄付金	100,000	0	100,000
受取寄付金	100,000	0	100,000
⑥ 雑収益	10,080,124	9,617,654	462,470
総会・懇親会会費	10,041,000	9,585,000	456,000
受取利息	3,524	2,654	870
その他雑収益	35,600	30,000	5,600
経常収益計	276,849,327	256,818,761	20,030,566
(2) 経常費用			
① 事業費	203,234,636	214,876,766	-11,642,130
役員報酬	36,957,000	34,150,800	2,806,200
給料手当	16,058,408	11,748,601	4,309,807
臨時雇賃金	2,079,650	2,929,725	-850,075
報酬謝金	27,436,920	25,461,600	1,975,320
役員退職慰労金繰入額	2,966,017	717,300	2,248,717
退職給付費用	77,040	348,062	-271,022
退職給付金	300,000	250,000	50,000
法定福利費	3,173,653	2,267,969	905,684
会議費	7,583,756	10,911,267	-3,327,511
会場費	23,389,647	28,158,841	-4,769,194
旅費交通費	15,040,431	19,124,880	-4,084,449
通信運搬費	8,533,198	8,566,949	-33,751
減価償却費	7,132,146	6,643,813	488,333
什器備品費	96,550	591,618	-495,068
消耗品費	4,054,243	13,890,499	-9,836,256
修繕費	1,497,510	1,010,520	486,990
印刷製本費	11,666,410	9,508,005	2,158,405
広告宣伝費	0	0	0
渉外費	630,510	623,500	7,010
光熱水料費	1,401,775	1,255,856	145,919
リース料	91,728	91,728	0
保険料	236,347	148,181	88,166
諸謝金	1,650,999	2,311,444	-660,445
租税公課	2,031,848	1,875,664	156,184
インターネット	3,948	14,616	-10,668
支払手数料	299,160	273,890	25,270

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託費	2,657,320	7,269,900	-4,612,580
事務委託費	25,191,700	24,040,200	1,151,500
雑費	996,722	691,338	305,384
② 管理費	41,792,804	50,384,122	-8,591,318
役員報酬	12,303,000	13,939,200	-1,636,200
給料手当	3,893,411	7,400,742	-3,507,331
臨時雇賃金	0	69,760	-69,760
役員退職慰労金繰入額	962,483	282,700	679,783
退職給付費用	0	27,814	-27,814
退職給付金	0	0	0
法定福利費	1,314,782	2,172,502	-857,720
福利厚生費	295,696	211,554	84,142
会議費	9,232,632	8,694,615	538,017
会場費	1,414,245	873,705	540,540
旅費交通費	1,650,700	865,633	785,067
通勤費	467,510	410,400	57,110
通信運搬費	1,180,369	956,579	223,790
減価償却費	1,286,971	1,233,665	53,306
什器備品費	403,714	22,050	381,664
消耗品費	865,751	1,005,621	-139,870
修繕費	136,658	0	136,658
印刷製本費	840,569	327,238	513,331
渉外費	255,651	514,027	-258,376
光熱水料費	581,587	526,992	54,595
リース料	298,872	235,872	63,000
保険料	28,017	74,812	-46,795
諸謝金	22,222	577,777	-555,555
租税公課	525,521	4,180,336	-3,654,815
支払寄付金	61,000	1,059,000	-998,000
支払手数料	159,835	275,350	-115,515
委託費	3,249,710	4,015,069	-765,359
雑費	361,898	431,109	-69,211
經常費用計	245,027,440	265,260,888	-20,233,448
当期經常増減額	31,821,887	-8,442,127	40,264,014
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	3	1,353,424	-1,353,421
經常外費用計	3	1,353,424	-1,353,421
当期經常外増減額	-3	-1,353,424	1,353,421
当期一般正味財産増減額	31,821,884	-9,795,551	41,617,435
一般正味財産期首残高	626,923,970	636,719,521	-9,795,551
一般正味財産期末残高	658,745,854	626,923,970	31,821,884
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	688,745,854	656,923,970	31,821,884

正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業(公1)	普及啓発事業(公2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	390,000	390,000		390,000
②特定資産運用益	0	0	27,187	27,187		27,187
③受取会費	0	0	81,611,500	81,611,500	81,611,500	163,223,000
正会員受取会費	0	0	3,135,000	3,135,000	3,135,000	6,270,000
賛助会員受取会費	0	0	78,476,500	78,476,500	78,476,500	156,953,000
④事業収益	103,029,016	0	0	103,029,016	0	103,029,016
講習会等実施事業収益	12,259,766	0	0	12,259,766	0	12,259,766
指導者養成事業収益	69,417,500	0	0	69,417,500	0	69,417,500
免状発行等事業収益	21,351,750	0	0	21,351,750	0	21,351,750
⑤受取寄付金	0	0	100,000	100,000	0	100,000
受取寄付金	0	0	100,000	100,000	0	100,000
⑥雑収益	0	0	39,124	39,124	10,041,000	10,080,124
総会・懇親会会費	0	0	0	0	10,041,000	10,041,000
受取利息	0	0	3,524	3,524	0	3,524
その他雑収益	0	0	35,600	35,600	0	35,600
経常収益計	103,029,016	0	82,167,811	185,196,827	91,652,500	276,849,327
(2) 経常費用						
①事業費	135,334,071	67,900,565	0	203,234,636		203,234,636
役員報酬	21,033,120	15,923,880	0	36,957,000		36,957,000
給料手当	12,868,824	3,189,584	0	16,058,408		16,058,408
臨時雇賃金	1,846,550	233,100	0	2,079,650		2,079,650
報酬謝金	27,436,920	0	0	27,436,920		27,436,920
役員退職慰労金繰入額	1,689,255	1,276,762	0	2,966,017		2,966,017
退職給付費用	77,040	0	0	77,040		77,040
退職給付金	300,000	0	0	300,000		300,000
法定福利費	2,347,443	826,210	0	3,173,653		3,173,653
会議費	7,037,226	546,530	0	7,583,756		7,583,756
会場費	23,113,483	276,164	0	23,389,647		23,389,647
旅費交通費	14,487,460	552,971	0	15,040,431		15,040,431
通信運搬費	2,856,134	5,677,064	0	8,533,198		8,533,198
減価償却費	5,790,574	1,341,572	0	7,132,146		7,132,146
什器備品費	96,550	0	0	96,550		96,550
消耗品費	3,395,272	658,971	0	4,054,243		4,054,243
修繕費	1,497,510	0	0	1,497,510		1,497,510
印刷製本費	925,750	10,740,660	0	11,666,410		11,666,410
広告宣伝費	0	0	0	0		0
渉外費	614,435	16,075	0	630,510		630,510

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業(公1)	普及啓発事業(公2)	共 通	小 計		
光熱水料費	1,164,435	237,340	0	1,401,775		1,401,775
リース料	45,864	45,864	0	91,728		91,728
保険料	199,490	36,857	0	236,347		236,347
諸謝金	10,000	1,640,999	0	1,650,999		1,650,999
租税公課	1,694,060	337,788	0	2,031,848		2,031,848
インターネット	0	3,948	0	3,948		3,948
支払手数料	295,240	3,920	0	299,160		299,160
委託費	1,903,720	753,600	0	2,657,320		2,657,320
事務委託費	2,094,000	23,097,700	0	25,191,700		25,191,700
雑費	513,716	483,006	0	996,722		996,722
②管理費	0	0	0	0	41,792,804	41,792,804
役員報酬					12,303,000	12,303,000
給料手当					3,893,411	3,893,411
臨時雇賃金					0	0
役員退職慰労金繰入額					962,483	962,483
退職給付費用					0	0
法定福利費					1,314,782	1,314,782
福利厚生費					295,696	295,696
会議費					9,232,632	9,232,632
会場費					1,414,245	1,414,245
旅費交通費					1,650,700	1,650,700
通勤費					467,510	467,510
通信運搬費					1,180,369	1,180,369
減価償却費					1,286,971	1,286,971
什器備品費					403,714	403,714
消耗品費					865,751	865,751
修繕費					136,658	136,658
印刷製本費					840,569	840,569
渉外費					255,651	255,651
光熱水料費					581,587	581,587
リース料					298,872	298,872
保険料					28,017	28,017
諸謝金					22,222	22,222
租税公課					525,521	525,521
支払寄付金					61,000	61,000
支払手数料					159,835	159,835
委託費					3,249,710	3,249,710
雑費					361,898	361,898
経常費用計	135,334,071	67,900,565	0	203,234,636	41,792,804	245,027,440
当期経常増減額	-32,305,055	-67,900,565	82,167,811	-18,037,809	49,859,696	31,821,887

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業(公1)	普及啓発事業(公2)	共 通	小 計		
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
固定資産除却損	0	0	3	3	0	0
経常外費用計	0	0	3	3	0	3
当期経常外増減額	0	0	-3	-3	0	-3
他会計振替額	0	0	18,037,812	18,037,812	-18,037,812	0
当期一般正味財産増減額	-32,305,055	-67,900,565	100,205,623	0	31,821,884	31,821,884
一般正味財産期首残高	0	0	509,375,617	509,375,617	117,548,353	626,923,970
一般正味財産期末残高	-32,305,055	-67,900,565	609,581,240	509,375,617	149,370,237	658,745,854
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	30,000,000	30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	30,000,000	30,000,000	0	30,000,000
III 正味財産期末残高	-32,305,055	-67,900,565	639,581,240	539,375,617	149,370,237	688,745,854

財 産 目 録

平成25年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	・手元保管(本部)	運転資金として	274,606	
		・手元保管(各支部・60口)	運転資金として	4,463,419	
	<現金計>			4,738,025	
	預金	・城北信用金庫駒込支店	運転資金として	33,161,736	
		・三菱東京UFJ銀行駒込支店	運転資金として	1,113,337	
		・ゆうちょ銀行中里支店	運転資金として	7,013,701	
		・ゆうちょ銀行支部口座(60口)	運転資金として	36,352,690	
		<普通預金計>			77,641,464
	未収金	・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (026471)	5,228,474	
		・ゆうちょ銀行王子郵便局	運転資金として (687874)	25,570	
<振替預金計>			5,254,044		
前払費用	・講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	760,422		
仮払金	・火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	511,182		
	・職員の社会保険料、住民税	公益目的事業及び管理業務の用に供する仮払金	104,014		
<その他計>			1,375,618		
流動資産合計				89,009,151	
(固定資産)	基本資産	投資有価証券	・第270回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	30,213,000
		<基本資産計>			30,213,000
	特定資産	退職給付引当資産	・普通預金	負債(退職給付引当金)に対応して引当された資産	8,000,000
			・定期預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	負債(退職給付引当金)に対応して引当された資産	29,000,000
	減価償却引当資産	定期預金	三菱東京UFJ銀行駒込支店	減価償却累計額に対応して引当された資産。	60,000,000
			<特定資産計>		
	その他固定資産	建物	・会館 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66.0%:34.0%である。	42,320,598
			・道場 北区中里二丁目12	公益目的事業の用に供しており、共用割合は100%である。	157,202,295
		建物(工事)	・資料館及び会館内装工事 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。	14,068,380
		建物	・第二道場 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。	49,393,222
		<建物計>			262,984,495
		建物付属設備	・会館2階の空調・電気・昇降設置工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50.0%:50.0%	1,193,056
			・道場・会館の看板交換工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76.0%:24.0%	225,486
	構築物	・第二道場の電気・ガス・給排水・冷暖房等設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%	4,873,043	
		<建物附属設備>			6,291,585
	・第二道場の舗装・排水工事、ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。	820,794		
<構築物計>			820,794		

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	什器備品	・家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	229,673
		・コンピュータ:サーバー	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	47,110
		・組込金庫		145,347
		・第二道場の電話設備・共同視聴装置	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、共用割合は80%:20%	259,833
		・第二道場のインターフォン設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、共用割合は80%:20%	108,964
		・絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000
			<什器備品計>	2,140,927
	土地	・95.70㎡(会館) 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、共用割合は66.0%:34.0%である。	66,453,187
	土地	・131.23㎡(道場) 北区中里二丁目12	公益目的事業に供しており、共用割合は100%である。	109,410,000
	土地	・116.68㎡(第二道場) 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、共用割合は80.0%:20.0%	91,861,500
			<土地計>	267,724,687
商標権	・自彊術に関する日本・中国 ・台湾の商標権	公益目的事業の用に供しており、共有割合は100%である。	1,763,385	
ソフトウェア	・法人会計ソフト	管理業務の用に100%供している。	55,615	
電話加入権		公益目的事業の用に100%供している。	72,800	
保証金	・警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000	
保険積立金		管理業務の用に100%供している。	14,665,984	
		<その他計>	16,577,784	
固定資産合計			683,753,272	
資産合計			772,762,423	
(流動負債)	未払金	・印刷製本費	月刊機関紙印刷代等の未払い額	1,124,818
		・年金保険料、後納郵便代他	2,3月厚生年金保険料、3月分後納郵便代他	885,111
		・支部交通費・講師料	九州・中国総支部研修会交通費・講師料	392,400
			<未払金>	2,402,329
	前受会費	・正会員会費	平成24年度正会員会費3名分の前受会費	30,000
		・賛助会費	平成24年度賛助会費の前受会費	36,991,000
・研修会費		第88回熱川研修会116名分の研修会費	4,408,000	
		<前受会費>	41,429,000	
預り金	・王子税務署	204条報酬源泉所得税、3月分源泉所得税	434,243	
	・豊島区役所他	3月分住民税、雇用保険料	177,907	
	・日本年金機構(北年金事務所)	健康保険料、介護保険料、厚生年金保険料	338,174	
		<預り金>	950,324	
流動負債合計			44,781,653	
(固定負債)	退職給付引当金	・役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金	38,782,000
		・職員退職給付引当金	職員分の退職給付金	452,916
			<退職給付金引当金>	39,234,916
固定負債合計			39,234,916	
負債合計			84,016,569	
正味財産			688,745,854	